

平成 29 年度山形県福工連携による 安心介護モデル創出補助事業について

事業の目的

介護の現場に、福祉用具や介護ロボット、ICTなどの先端技術を導入し、効率化、省力化を図り、職員の負担を軽減し、働きやすい職場を作ることで、介護人材の定着、新規参入を促進します。

事業の内容

【1】介護ロボット等導入支援事業 ⇒補助金交付申請の受付を締め切りました

先端技術を活用した介護ロボットやセンサー等を導入して介護職員の負担軽減を図る介護事業所に対し、その費用の一部を補助金として支給します。

■対象となる事業者

県内の介護事業所とする。

■補助金の額

介護ロボット等の導入に要する経費の2分の1の額と、100万円（補助上限額）のいずれか低い額。補助金交付先は10事業所程度。

【2】山形発福祉用具開発推進事業

介護現場の負担軽減を図るため、本県の介護現場のニーズに即した福祉用具の開発に、県内企業と介護事業所とが連携して取り組むプロジェクトを支援し、補助金を支給します。

■交付の対象となる事業

介護現場の課題に即した福祉用具等の研究開発や介護事業所での実証実験等に係る事業。
採択から事業完了まで最長3年。

■対象となる事業者

県内に事業所を有する企業、又は企業と研究機関並びに補助事業遂行のため連携が必要な企業・機関等による連携体とする。

■補助金の額

福祉用具等の開発に要する経費の2分の1の額と、500万円のいずれか低い額（単年度）。

補助金交付先は2チーム程度。

【3】ICT活用プロジェクト事業

介護事業所と県内企業がチームを組み、ICT技術を活用し、介護記録の電子化など、介護職員の事務負担を軽減し、効率化を図るプロジェクトを支援し、補助金を支給します。

■交付の対象となる事業

介護事業所と県内企業等がチームを組み、ICTの活用（導入）に係る事業。
採択から事業完了まで最長2年。

■対象となる事業者

ICT企業と県内の介護事業所の共同体とする。

■補助金の額

プロジェクト遂行に要する経費の2分の1の額と、200万円のいずれか低い額（単年度）。
補助金交付先は3チーム程度。

お問合せ先

「平成29年度山形県福工連携による安心介護モデル創出補助事業」事務局
株式会社フィデア総合研究所
地域政策コンサルティンググループ
担当：加藤・松田
山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8階
TEL：023-626-9017
FAX：023-626-9038
<http://www.f-ric.co.jp/>

本事業は、山形県より委託を受け、株式会社フィデア総合研究所が事務局となり実施しております。